

北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会 議事録

1 日 時 令和3年4月14日(水) 10:00~11:00

2 場 所 北海道庁地下1階大会議室B

3 出席者 別紙「出席者名簿」のとおり

4 協議事項

- (1) 高病原性鳥インフルエンザへの対応について
- (2) 豚熱・アフリカ豚熱への対応について
- (3) その他

(開 会)

【山口食の安全推進局長】

- ただ今から、「北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会」を開催する。
- 本日司会を務める食の安全推進局長の山口でございます。
- 開会にあたり、農政部 横田食の安全推進監から御挨拶申し上げます。

(挨 拶)

【横田食の安全推進監】

- 農政部食の安全推進監の横田でございます。本日は、お忙しい中、「北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会」に お集まりいただき感謝。また、先日開催した指揮室設置訓練に御参加いただきました方につきましてもこの場を借りて御礼申し上げます。

4月の定期異動で幹事会構成員も変わったことから、年度初めのお忙しいところですが、道内で発生が危惧される家畜の伝染病について情報共有を図るため、開催したところ。

- 高病原性鳥インフルエンザについては、今シーズンは、養鶏場で18県52例と、過去最大の発生となり、道内でも、1月に千葉県の発生に伴う疫学関連農場で疑似患畜を殺処分するなど防疫措置を実施した。

現在、北に戻る渡り鳥が盛んに道内を移動しており、5月の連休明けまでは非常にリスクが高く、警戒が必要な状況。

- 一方、豚熱は、本州を中心に発生地域が拡大し、昨年12月には東北で初めて山形県で発生するなど、12県で64例を確認。

感染源とされる野生いのししの感染地域も同様に拡大し、これに伴いワクチン接種推奨地域も30県となり、道内の主要な種豚供給地域である岩手県や青森県に迫っており、種豚供給への影響が危惧される。

- アフリカ豚熱については、平成 30 年に中国で発生した後、モンゴル、東南アジア、北朝鮮、韓国に拡大をし、今年 2 月にはマレーシアでも初めて発生が確認されている。
- 全国の空港では、これら発生国からの旅行客が違法に持ち込んだ豚肉等から、アフリカ豚熱ウイルスが確認され、北海道においても、新千歳空港で 12 例が確認されており、道内への侵入リスクは高い状況にある。
- これらの海外悪性伝染病が万が一発生すれば、道内産業に大きな影響を及ぼす。
国内・道内への侵入を防止するには、関係者が一体となった侵入防止対策を徹底することが重要。
今後とも幹事会では、関係する皆様と情報共有を図り、連携が強化されるよう対応して参りたい。引き続きよろしく願います。

【山口食の安全推進局長】

- 資料の確認。
- 協議事項（1）高病原性鳥インフルエンザへの対応について、まず、農政部から「家きん関係」について説明願う。

（協議事項（1）高病原性鳥インフルエンザへの対応）

【農政部畜産振興課 山口家畜衛生担当課長】

- 家きん関係について資料 1－1（家きん関係）に基づき説明。

【山口食の安全推進局長】

- 続いて、環境生活部から「野鳥関係」について説明願う。

【環境生活部自然環境課 鈴木担当課長】

- 野鳥関係について資料 1－2（野鳥関係）に基づき説明。

－質疑なし－

【山口食の安全推進局長】

- 続いて、（2）豚熱・アフリカ豚熱への対応について、まず、農政部から「家きん関係」について説明願う。

（協議事項（2）豚熱・アフリカ豚熱への対応について）

【農政部畜産振興課 山口家畜衛生担当課長】

- 資料 2 豚熱・アフリカ豚熱への対応に基づき説明。

(質 疑)

【環境生活部環境政策課 遠藤水道担当課長】

- 一点目は台湾で豚が漂着したとの話があったが、船で家畜を移送するようなケースがあり得るのか。そうすれば、種豚が主に東北から供給との話だが北海道へも船の輸送があるのか。
- 二点目としてレンダリング装置を厚真町に設置したとの話だが、鶏も焼却できるのか。

【農政部畜産振興課 山口家畜衛生担当課長】

- 豚の移動については、フェリーでの移送はあるが基本的には、船の上で放し飼いしないため、台湾のようなケースは考えにくい。レンダリング装置は鶏については想定していないもの。あくまで牛と豚。

－他に質疑なし－

【山口食の安全推進局長】

- それでは、(3) その他について、農政部からの提供はない。質疑や話題提供など要望がある方は意見いただきたい。

－意見等なし－

(挨 拶)

【横田食の安全推進監】

- 最後に改めて、病気というのは様々なルートで侵入してくる。道内に高病原性鳥インフルエンザ、豚熱やアフリカ豚熱などの悪性伝染病を絶対に侵入させないため、関係者一丸となって取り組むことが極めて重要。
- 繰り返しになるが、今シーズンの高病原性鳥インフルエンザは、5月まで気を抜けない状況であり、それぞれ立場で発生予防に全力で対応してもらいたい。
- 関係各部局においては、防疫対策要綱で役割を今一度確認するとともに、各振興局に対しても周知、連携体制を保持していただき、発生予防、まん延防止に万全を尽くしていただきたい。ご協力をお願いします。

【山口食の安全推進局長】

- これをもって北海道海外悪性伝染病警戒本部幹事会を閉会する。